令和８年度　１１月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長　　足立祐子
台東区浅草４－４８－１８
電話　３８７４－２４６０
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



運動会　ビフォー・アフター

園長　足立祐子

ようやく風も涼しくなって、秋の気配が感じられるようになりました。

先月行いました運動会では、一人一人の幼児が楽しんで各種目に取り組み、日常の生活の一端をご覧いただける良い機会になりました。昨年も暑かったと記憶していますが、今年も暑い運動会になり、晴天で嬉しい反面健康に気を遣う一日でした。応援のご家族の皆様も、気持ちよくご覧いただくために様々にご協力をいただき、感謝申し上げます。

幼稚園で、運動会に向かう取り組みの中では、大きい組になるほど友達と協力して取り組むことが増えてきます。5歳児月組の応援団やリズムでは、動きや踊りを考えること、リレーの走順など自分たちで話し合い決定することなども経験しました。自分たちで考えること自体、とても大変なことです。事務的に「はいあなた1番走って、」と決められれば、ただ一生懸命に走るだけでよいわけです。しかし、駅伝でも語られるように「だれがどの順番で、どの区間を走るか」で順位は大きく変わります。それで、作戦を立てる必要が出てきて、「ああしたらどう？」「こうしてみる？」とアイディアを出し合うのです。最初は「私が7番走りたい！」という自分の欲求の主張であったのが、次第に「今の作戦の結果がこうだった」という、反省・評価をもとに改善策が提案されてきました。実に高度で興味深い話し合いになるのです。そのために、「もう1回やりたい！」と担任に申し出、校庭で何度も話し合う姿が見られました。運動会目前では、チームで戦うという意味が分かり、「みんな本気でやって！」と友達に気合を入れる姿も見られました。

幼児教育の中で育まれる資質・能力は、「知識や技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」「学びに向かう力・人間性」と言われます。日常の保育では、様々な体験活動を通して、その過程や子供の気付き、挑戦する姿を大切にしていきます。

「来年、再来年の姿を想像して、楽しみになりました」というアンケートの記載がありました。園のモデルになった、月組さんに拍手です。そして、その姿にあこがれた雪組、花組は、運動会の後、毎日応援団の掛け声やダンス、かっこよかった競技をまねする姿が見られています。